

科目名	基礎看護学実習 I		時期	1年次 後期
担当者	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		単位(時間) 日数	1単位(35時間) 6日
科目の概要	本実習で、看護学生として初めて看護の対象と看護活動の実際の場に臨む。既習の基本的な看護の概念・看護の対象・看護理論(ナイチンゲール・ヘンダーソン)の視点の視点を持って、実際の看護活動や看護の対象者の状況に触れ関連した理解を深める。あわせて、実習での看護学生としての基本的な姿勢を学び、これから学ぶ看護の内容への意味を探究する力も養う。			
目的	健康障害を持つ人を理解し、状態に応じた看護を実践するための基礎的な知識、技術、態度を修得する			
目標	1 入院生活を送る対象の思いや体験していることに関心をむけ、コミュニケーションを図り、基本的ニーズを理解する 2 対象の入院している環境を知る(理解する) 3 病棟での看護活動を見学し、看護がどのように実践されているかを理解する 4 実習を通して看護の魅力を発見し、学習者としての態度を修得する			
ディプロマ・ポリシーとの関連	☑ 1. 豊かな人間力 ☑ 2. 看護を実践する力 ☑ 3. 探求する力 ☑ 4. 連携・協働する力			
評価	実習評価表に基づき評価する			
授業計画				
日	時間	実習内容		実習場所
1	6.5	1 実習オリエンテーション:実習の概要を知り、実習に臨む準備を整える 2 事前学習：入院環境・看護活動について 既習の知識をまとめ、今回の実習で実際に学ぶ具体的な視点を明確にする。 3 病棟看護師との交流		学内
2 ～ 3	13	1 病棟オリエンテーション：実習病棟の概要を知り、入院環境の理解を深める 2 看護師に同行し、患者とのコミュニケーションの実際を見学する 3 看護師に同行し、看護活動を見学し、患者の検査や他科診受診などに同行する		新発田病院 リウマチセンター
4 ～ 5	13	1 看護の対象である入院患者の現状について理解する 1)入院生活の思いや体験していることを知る。 2)対象の反応を観察し、言動や言動以外で表現していることにも関心をむけたコミュニケーションをはかる。 3)患者の療養生活としての一日の状況を理解する 2 対象の病床環境を知り、基本的な環境整備を実施する 3 看護師とのカンファレンス 1)見学した看護活動の意味と重要性について明確にする 2)対象の環境を知り、完全・安楽・快適な療養環境について考察する		新発田病院 リウマチセンター
6	2.5	実習のまとめ 全体カンファレンス		学内

*詳細については、基礎看護学実習 I オリエンテーションで説明する。